

目的 ポストコロナを見据えた、ICTの新たな可能性を最大限に生かした学習活動の展開

- 背景**
- ・ Society5.0 時代を生きる子供たちにおいては、情報や情報手段を主体的に選択し活用していくための基礎的な資質を身に付け、情報社会に対応していく力を備えることが重要となっている
 - ・ 小中学校においては、平成29年3月に公示された学習指導要領において、「情報活用能力」が「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられた

現状

市町村における「GIGAスクール構想」の実現に向けた取組み

◆学習者用端末及びネットワーク環境の整備が完了



○期待される効果

- ・ 個別最適な学びの充実
- ・ 遠隔・オンライン教育の充実（学びの保障）
- ・ 端末の持ち帰りによる家庭学習の充実

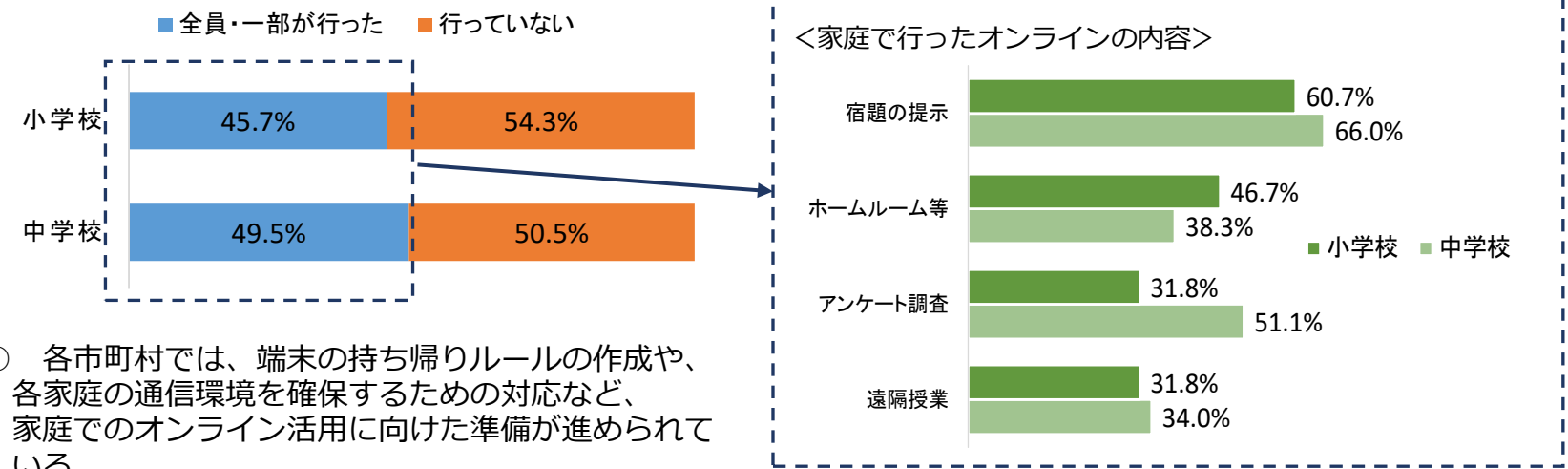
◆ICT教育推進拠点校による効果の実証研究（R2・3）

県内8校（小学校4校・中学校4校）を指定し、「一斉学習」「個別学習」「協働学習」におけるICTの効果を実証

◆ICT活用推進協議会（R2・3）

拠点校間で、取組みの内容とその効果について情報共有

<家庭でのオンライン活用の試行状況> 「オンライン活用状況調査」（令和3年12月県教委実施）



- 各市町村では、端末の持ち帰りルール作成や、各家庭の通信環境を確保するための対応など、家庭でのオンライン活用に向けた準備が進められている。

課題

- 家庭とのオンラインによる遠隔授業のための準備や指導のノウハウの普及
- 授業と家庭学習を連携させた好事例（学習履歴の活用等）の収集・発信

全県的に効果的な実践例等を紹介し、すべての小中学校におけるICT活用推進を図る必要がある。

活用推進に向けた県の支援策

◆ICT教育推進拠点校の実践事例の活用促進

- 各教科等におけるICT機器、デジタル教材のより効果的・効率的な活用方法の普及
- 教科等によらない汎用的な活用方法や家庭学習における一人一台端末の活用方法の普及

◆ICT活用促進フォーラムの開催：令和4年7月4日（月）

- 対象：県全域の小・中・高等学校教員、特別支援学校の教員、市町村教育委員会職員
- 内容：ICT教育推進拠点校における成果・課題、実践事例等を広く紹介

◆県教育センターによる研修講座の開催及び研修動画の公開

- 「児童生徒によるICT活用を通して、情報活用能力を育む授業づくり」の講義・演習
- 「ICT活用授業報告」「小学校プログラミング等研修動画」等の動画サイトによる発信

各市町村における活用推進

～ICTの新たな可能性を最大限に生かす～

- ◇ 端末の持ち帰りにより、**授業と家庭学習とを連携**
- ◇ ウェブ会議機能、ファイル共有機能等による**遠隔学習**
- ◇ AIドリル等の活用による**個別最適学習**
- ◇ **学習履歴、生活面の記録等を蓄積**し、児童生徒や教師の振り返りに活用
- ◇ 全員の意見・学習状況等を**瞬時に収集・把握し可視化**
- ◇ グループ内で協力し合い、プレゼン資料等をリアルタイムで協働作成
- ◇ 思考ツール等を活用し、**協働で情報を整理・分析**